

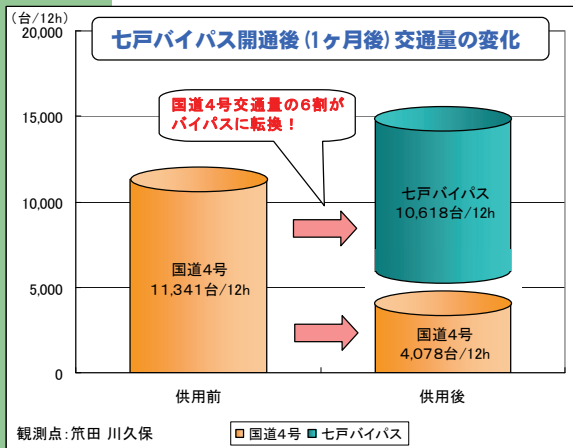
国道4号七戸バイパス開通1ヶ月を迎えて

「七戸町は新たな交通の結節点:上十三地域の中核地域に!!!」

～七戸バイパス開通に関する座談会(平成23年1月6日)～



平成22年11月24日に国道4号七戸バイパスが開通し、1ヶ月が経過しました。その間に12月4日の新幹線開業など、大きく七戸町を取り巻く交通環境は変化しました。これら交通環境の変化を受け、「現道」や「新幹線」を活用した広域観光振興や地域振興等、「地域の未来」について、青森大学 経営学部 井上 隆学部長を座長に、七戸町長、七戸商工会会長、国土交通省 青森河川国道事務所長による、座談会を開催しました。



【久保田所長】
バイパス開通1ヶ月後の交通状況としては、開通前の現道の平日交通量が約1万1000台/12hに対し、開通後は約4000台/12hと、6割がバイパスに交通が転換しております。また、特に大型車両につきましては、その9割がバイパスに転換しており、結果として町内の通過時間が約3割短縮、現道の騒音値が5〜8dB低減と、大幅に沿道環境が改善しております。

【井上座長】
国道4号七戸バイパスが開通、また時を同じくし新幹線が開業し、大きく七戸町の交通環境は変化しました。バイパス開通に伴い、七戸町中心部は大きく安全性が向上した一方で、町内の交通量は大きく減少し、今後の現道の活用や新幹線を中心とした広域観光振興、地域振興等が必要とされています。今日は、これら交通環境の変化を受け、今後の七戸町の将来像について意見を交換して参りたいと思います。
では最初に、バイパス開通に伴う交通の変化など、青森河川国道事務所長よりご説明をお願いします。

バイパスが開通し町内の安全性が大きく向上
地域活性化の機運も!!!



【井上座長】
バイパスが開通して1ヶ月、町全体としてどういふ風に変化したか、感想をお聞かせください。

【七戸町長】
今までの現道については、カーブしながら上ったり下ったりと、それに冬期間は凍結して日中もなかなか融けないという状況で、かなり渋滞していました。そういったものがまったくなくなり、しかも通過時間が短縮しました。ちょうど新幹線の開業に先だつての開通ということで、南からの利用者の皆さんの声を聞くと、とにかく近くなつたと言っておりまして。
もう旧道はほとんど車が通らないといつていくくらい、もう「がらくん」として楽しんですよね。こんなに違うのかなという気持ちがあります。

【七戸商工会長】

今、町長が話されたとおり本当に快適になりました。特に冬場の「川去の坂」については、大型車が全部ストップし、渋滞して通れませんでした。かなり緩和されたと感じております。
また町中については、今まで交通が過剰で、騒音とか、徒歩であそこを横断するというのが非常に難儀だったのが解消されています。その関係で、新しくあの辺が商業地としての可能性を残しているということ、新たな町のエリアが広がったという風に解釈しています。

また今まで、秋祭りの山車なんか、町内だけの運行コースだったもので、山車がくつちいちゃうんですね。そういう山車の運行でも地域が広がって、改善できる可能性があると考えています。寂しくなつたというんじやなくて、むしろ、可能性が出てきたと考えております。



青森大学経営学部
学部長
井上 隆



七戸町長
小又 勉



冬の交通状況



渋滞する現道

バイパス供用に伴い
周辺市町村との新たな連携
(広域美術館連携)



【井上座長】
バイパスが開通したことで街が寂れるんじゃないかと不安を持っている方もいると思いますが、町長さん、会長さんは逆にそれを活用しようとする動きが見られ、大変結構なことだと思えます。

全国的に見ますと、バイパスが通ったことで、かえって街が活性化した事例がたくさんあります。道路開通に伴い、沿線上の市町村にある美術館が、共同展覧会を開催したり、共通利用券をつくり料金の割引を実施したりして、その結果すべての美術館で利用者が増えるとともに、その地域で買い物して帰ったり、散歩したりと地域活性化に結びついたという事例がございます。

私、この事例を見まして、ちょうど七戸町はランクの高い美術館を持っている訳ですから、例えばの話ですが、バイパス開通により十和田市と七戸町の移動時間が短縮したのを受け、十和田市の現代美術館と七戸町の美術館とで連携し、人の交流を増やすことによる活性化を模索してみるのもいいのではないかと考えます。



鷹山宇一記念美術館

【七戸町長】
美術館の連携なんですけど、十和田市の現代美術館と七戸の美術館との連携を図っていくとともに、もう一つは三沢市の寺山修司記念館との連携について現在検討しております。

また、新幹線駅開業に伴う観光等についても、七戸町だけでなく解決できる訳でも無いと考えており、宿泊にしても旅館はありますけど1軒で、その辺を十和田市さんと連携をとっていく必要があると考えています。そういう意味で、駅に降りてバイパスを通っていくと、15分程度で十和田市に着けるのも、七戸バイパスの整備効果だと思います。

また、長期的には、今後の七戸町の役割として上三地域、下北地域を含めての、玄関口になると考えており、各地域へのアクセス機能の強化が必要と考えております。上北横断道路や下北半島縦貫道路の整備が進むことにより、玄関口とともに、将来はこの地域の中心として機能する、そこを念頭に置きながら、これからのいろんな整備を考えていかなければならないと思っております。



七戸商工会
会長
米内山 正義



青森河川国道
事務所長
久保田 一

【井上座長】
そうですね、バイパスをはじめとした道路整備が、まさに広域連携のツール、重要なツールになりうるわけですね。会長さんいかがでしょうか。

【米内山商工会長】
今、町長さんが言ったとおり、今すぐ出来ることとして、例えばお互いの地域の物産をお互いの地域で販売しあうことを、商工会連合会でやっています。広域的な連携を、もう少し長いスパンで考えると下北半島縦貫道路等の高速交通体系の早期の整備が必要ですよ。

昔話になってしまいますけれども、実はこの七戸町、歴史がありまして、昔は馬の競馬がここで行われておりました。近隣の地域から、たくさんの方がおいでになり、ここで競馬がやられ、その後いらした方は町に出ていき、南町って言うんですけど、ここがもう夜店って言うんですか、ビシッと両脇に、もう車が通れる状態じゃないくらいすごく賑わっていました。今こうした道路を造っていただいたこと、また新幹線といった核になるものもできました。また昔を復活できたならなどの思いです。

現道及び新幹線利活用に 向けた課題



(交通の要所としての七戸町)

【井上座長】
七戸町は今後、広域的なエリアの中で、交通の要所としての地位が強まると考えられます。

私が思うに、七戸十和田駅を中心とした七戸町が、文字通り広域的な地域の交通の要所としての地位を強めていく場合、ハード面だけでなく、ソフト面でのPRとか、そういったものが必要になってくると思えます。

今後、交通の要所としての地位を高めるための課題について、少しお話しをしていただきたいと思います。

【七戸町長】

七戸十和田駅には鉄道のアクセスが入っていない。バスについては下北交通、十和田観光電鉄がむつ市まで相互乗り入れしております。我々のPR不足もあり、未だに知らない人がおります。非常に不便だと言う声もあります。

また駅前駐車場が無料ということも、実はまだ知らない人もおります。これがちゃんと認知されると、まだまだ新幹線の活用が繋がってくるという風に思っています。

【久保田所長】

先日、新聞に新幹線開業効果の記事が出ておりまして、その中の一つに七戸十和田駅が開業し、大手の旅行会社が七戸町の中心部に入ってくるようなツアーのコースを作っているというような記事を見ました。先ほど町の中心部に、良い資源をいっぱい持っているというお話がありましたので、現道というか旧道の交通量も減ったということもあり、そういったものに活用していただけたら、ありがたいなと思っております。

【井上座長】

新幹線の七戸十和田駅を起点として、七戸全体の観光っていうのをたくさん作っていると思うんですが、ポスターみたいな物をはって、それから七戸町内の有料公共施設の共通割引券とか、周遊券みたいな物も少し検討いただいて、是非、町中を動かすような仕組みをお願いしたいですね。

また、七戸町を初めて訪れた人でも、わかりやすい標識が欲しいところですね。

【米内山商工会長】

七戸町の場合、町中にイベントが集中しております。しかし、「つつじ祭り」に來ても、「どうやって行けばいいかわからない」など迷子になっている方が見受けられます。ぜひ、町中心部への案内を充実していただきたいと思いますね。

【七戸町長】

町中案内標識については、「つつじ祭り」、あるいは「ひな人形の祭り」など、外から来た感覚で本当にたどり着ける「道路標識」にならないと思っております。これを機会にもう一回しっかりと点検してみたいと思います。

【井上座長】

新幹線の駅が開業し、今後交通の要所としての七戸町を確立するためには、七戸バイパスを活用するほか、高速アクセス路線である上北横断道路、下北半島縦貫道路の整備が必要です。早期の整備をお願いしたいと思っております。最後に、青森河川国道事務所長お願いします。

【久保田所長】

新幹線開業とともに、七戸十和田駅にもレンタカーのお店がオープンしました。みなさんご存じだと思いますが、青森県はとても広く、いろんな見どころが点在しています。そのため、まず新幹線で来て、そこから車（レンタカー）でまわるといった方が増えると考えられます。一般の方々に使いやすい「道路づくり」「道づかい」が必要になってくると思います。今回開通した七戸バイパスをはじめ、いろんな道路を活用していただくよう、努力してまいります。



座談会の様子(七戸町柏葉館)